



陶韻クラブ

第11号

第37回ジャパンデー開催



4月12日（土）、第37回ジャパンデーが開催されました。このイベントは、米軍人やその家族に日本の伝統文化を紹介することを目的として行われます。報道発表によると、米側からは延べ3000人が参加し、日本側からは48団体、約400人が参加しました。当日は朝方に少し冷え込みましたが、日中は晴れ間が広がり、人出が増えました。朝8時半にゲート前に集

合し、バスで会場に向かいました。陶韻クラブからは会員9名とボランティア3名が参加しました。例年より参加団体が少なかつたようで、会場には空きスペースが目立ちました。陶芸の会場は3団体が使用し、スペースを広く使うことができました。手際良く準備を進め、キャラクター型が4台とクロ2台のテーブルを設置しました。



イベントは10時に開始。セレモニーで始まり、来客が途切れなく訪れたため、忙しい一日となりました。新会員の佐藤さんが急遽参加、子供たちと

のコミュニケーションに英語力を発揮し、大助かりでした。終了後、片付けを行い、会場を後にしました。美工室に寄って道具類の整理をして、参加者全員疲れ切っていました。来年へ向けて建設的な意見を出してもらいました。その後、解散となりました。大変お疲れ様でした。



総会について

4月25日（金）19時から美工室にてクラブ総会を行いました。少し集まりが悪く13名の会員が揃ったところで始めました。最初に新会員4名の入会を全員で承認してから、会員名簿の順に自己紹介して頂きました。その後、行事報告と予定、会計報告、役員及び名簿

会則説明、クラブの運営について説明し、今年度の大きな行事となる創立45周年記念行事について話しました。記念行事の概要は次のとおりです。
① 祝賀会を11月～12月に予定
② チャリティバザーは行わない（代わりに社協まつり参加）
③ 記念誌は簡易な冊子を作成する。

ジャパンデー感謝会



4月26日（土）午後6時から、ジャパンデーが開催されたのと同じ場所で、米軍主催の感謝会が

行われました。陶韻クラブから7名が参加しました。会食から始まり、バンド演奏、主催者挨拶と続き、陶韻クラブは延べ35回参加した功績を称えられ、米軍基地司令官から感謝状を頂きました。

今後の予定

- 1 釉薬掛け 窯詰
5月9日（金）
- 2 本焼き
5月11日（日）
08:00から
- 3 新入会員歓迎会
5月11日（日）
12:00から

クラブHPについて

藤元さん作成の陶韻クラブホームページに「**新聞および写真**」をアップしています。

下記のQR

コードから

ページを開

き「メニュー、

「HOME」

にあります。

